

デジタルマイクロスコープ  
**DSX1000**

# かんたん操作ガイド



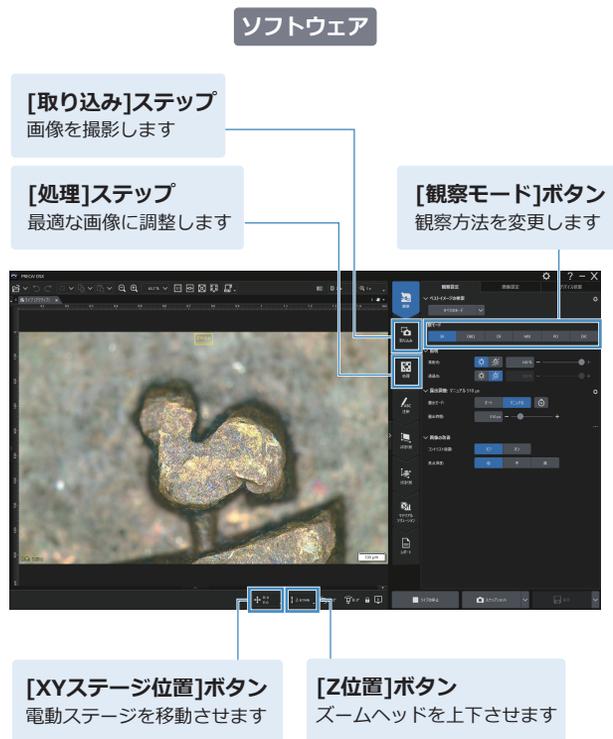
AX9341 05

# 基礎編

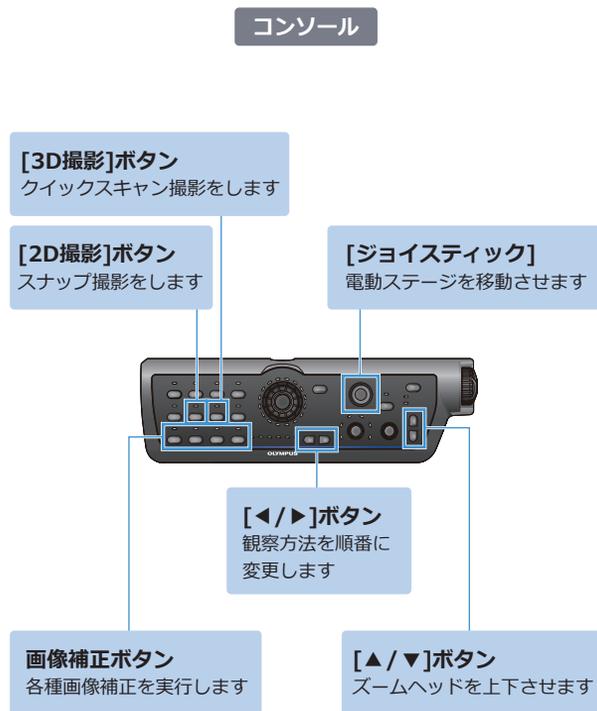
## 目次

- ① はじめに
- ② 観察の準備
- ③ 観察方法の選択
- ④ 画像補正の方法
- ⑤ 撮影
- ⑥ 撮影データの保存
- ⑦ お問い合わせ

# はじめに



# ユーザーインターフェース



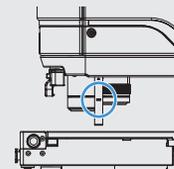
# 観察の準備

1. 装置を起動します（明視野観察の状態）
2. サンプルをステージにセットします
3. ズームヘッドを操作して、サンプルにピントを合わせます
4. ステージを前後左右に操作させて、観察したい場所を中央に移動させます

## サンプルのセット

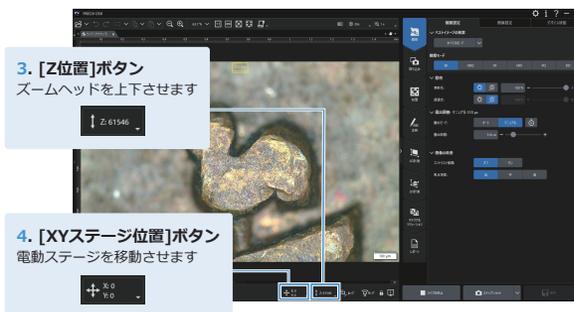


こんなことも  
できます

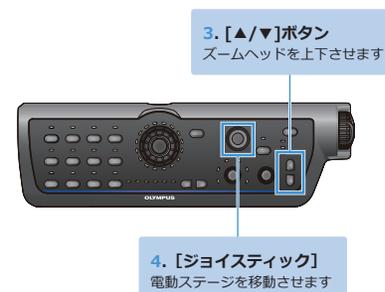


※ 補助スケールを取り出しておくとおおよそのピント位置がわかります。

### ソフトウェア



### コンソール



※ 「ズームヘッドの上下移動」「ステージの前後左右移動」「ピント合わせ補助スケールの使用方法」に関しては、オンラインヘルプをご確認ください。

# 観察方法の選択

最適な観え方を選びます

1. [観察] ステップをアクティブにし、[観察設定] タブをクリックします
2. [ベストイメージの検索] グループから [すべてのモード] ボタンをクリックします
3. ベストイメージ画面で最適な画像を選択します
4. [適用] ボタンをクリックします

## ソフトウェア



## コンソール



こんなことも  
できます

※ 直接観察法を選択することもできます。



[◀/▶]ボタン

観察方法を順番に変更していきます



[観察法]ボタン

該当する観察方法に変更します

# 画像補正の方法

## ライブ画像が補正できます

[コントラストUP] [焦点深度UP]

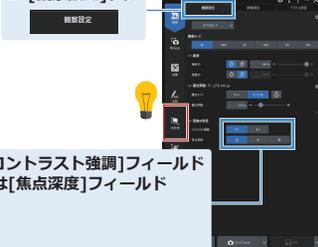
1. [観察] ステップをアクティブにし、[観察設定] タブをクリックします
2. [画像の改善] グループの [コントラスト強調] フィールドまたは [焦点深度] フィールドで必要な設定を選択します

[テキスト強調/ハレーション除去]

1. [観察] ステップをアクティブにし、[画像設定] タブをクリックします
2. [画質調整] グループの [LiveHDR] ボタンをクリックします
3. [オプション] フィールドで [テキスト強調] または [ハレーション除去] を選択します

### ソフトウェア

1. [観察設定] タブ



2. [コントラスト強調] フィールド  
または [焦点深度] フィールド

### ソフトウェア

1. [画像設定] タブ



2. [LiveHDR] ボタン

3. [テキスト強調] または  
[ハレーション除去] ボタン

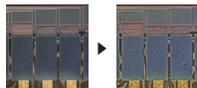
### コンソール



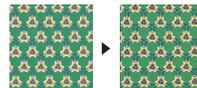
画像補正ボタン

各種画像補正を実行します  
画像補正が有効になっているときはLEDが点灯します

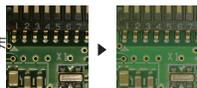
テキスト強調  
凹凸を強調します。



コントラストUP  
コントラストを強調します。



ハレーション除去  
反射や照り返しを抑制します。



焦点深度UP  
ピントが合う距離が深くなります。



こんなことも  
できます



※ [補助] タブ- [ライブ計測] ボタンをクリックすることで、ライブ中でも計測をすることができます。詳しくはオンラインヘルプをご確認ください。

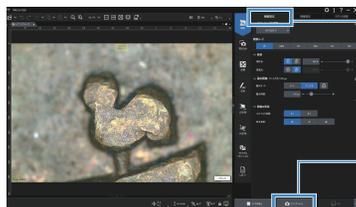
# 撮影

## スナップ撮影・3D撮影が簡単にできます

### スナップ 撮影

1. [取り込み] ステップをアクティブにし、[観察設定] タブをクリックします
2. [スナップショット] ボタンをクリックします  
ドキュメントグループに新しいドキュメントが作成され、表示されます

#### ソフトウェア



#### 1. [観察設定]タブ

観察設定

#### 2. [スナップショット]ボタン

スナップショット

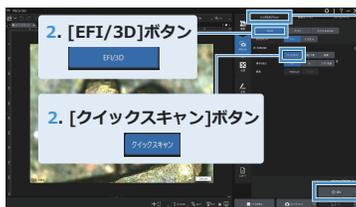
#### コンソール

[2D撮影] ボタン  
スナップ撮影をします



### 3D 撮影

1. [取り込み] ステップをアクティブにし、[シングルポジション] タブをクリックします
2. [取り込みモード] フィールドで [EFI/3D] ボタン、  
[モード] フィールドで [クイックスキャン] ボタンをクリックします
3. [開始] ボタンをクリックします  
ドキュメントグループに新しいドキュメントが作成され、表示されます



#### 2. [EFI/3D]ボタン

EFI/3D

#### 2. [クイックスキャン]ボタン

クイックスキャン

#### 1. [シングルポジション]タブ

シングルポジション

#### 4. [開始] ボタン

開始

[3D撮影] ボタン  
クイックスキャン撮影をします



# 撮影データの保存

## 画像データを保存します

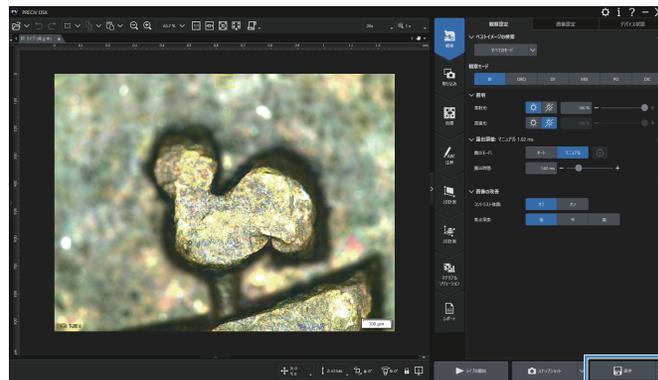
1. [保存]ボタンをクリックします
2. 画像が保存されます

画像の取り込み時にデフォルトの名前が割り当てられます

この名前は[ドキュメント名]ダイアログボックスで変更できます

[取り込み設定]>[ドキュメント名 ダイアログボックス]を参照してください

### ソフトウェア



1. [保存]ボタン



こんなことも  
できます

- ファイル名を指定して  
自動保存したい  
取り込み設定 > 保存 > 自動保存

# お問い合わせ

---

- サポートデスクへのお問い合わせ



EVIDENT Customer Information Center

**お客様相談センター** 受付時間 平日9:00~17:00

☎ **0120-58-0414**

※フリーダイヤルが利用できない場合

**03-6901-4200**

生物・工業用顕微鏡 E-mail: [ot-cic-microscope@evidentscientific.com](mailto:ot-cic-microscope@evidentscientific.com)

その他の製品 E-mail: [ot-cic-inspro@evidentscientific.com](mailto:ot-cic-inspro@evidentscientific.com)

デジタルマイクロスコープ  
DSX1000

## かんたん操作ガイド



# 応用編

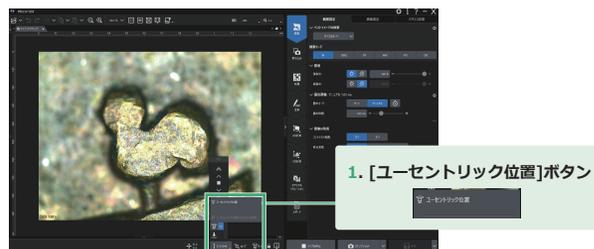
## 目次

- ① チルト観察の操作
- ② 回転ステージの操作
- ③ 対物レンズ・オプションユニットの交換
- ④ 対物レンズと観察方法対応一覧
- ⑤ 対物レンズとアタッチメント管理
- ⑥ 取扱説明書の中でよく読まれる項目
- ⑦ 取扱説明書構成一覧

# チルト観察の操作

1. ステータスバーの[Z軸]ボタンをクリックして、[ユーセントリック位置]ボタンをクリックします  
またはコンソール [フリーアングル位置] ボタンを押します

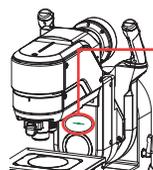
ソフトウェア



コンソール

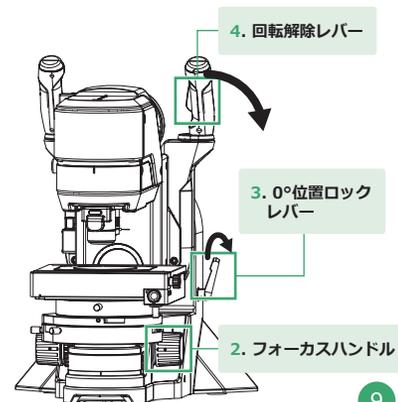


2. フォーカスハンドルでピントを合わせます



※サンプルの上面を横線に合わせると、おおよそのピントを合わせるができます。

3. 0°位置ロックレバーを回して0°位置ロックを解除します
4. ヘッドアーム部の回転解除レバーを握りしめたままヘッドを傾けます
5. 任意の位置で止め、回転解除レバーを離します



はじめに

操作手順

参考情報

応用編

2

チルト観察  
の操作

回転ステージ  
の操作

対物レンズ・  
オプションユニット  
の交換

対物レンズと  
観察方法対応一覧

対物レンズと  
アタッチメント管理

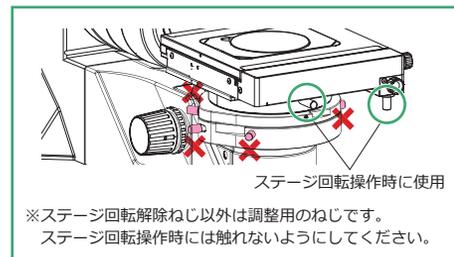
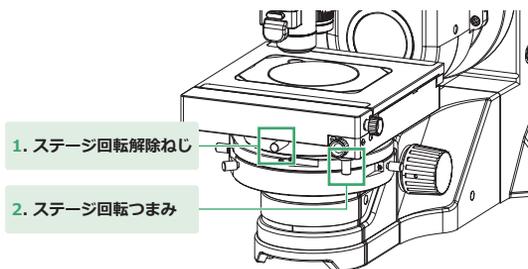
取扱説明書の中で  
よく読まれる項目

取扱説明書  
構成一覧

# 回転ステージの操作

※ 回転機能つき電動ステージのみの機能です

1. ステージ回転解除ねじをゆるめます
2. ステージ回転つまみをもってステージを回転させます



ソフトウェア



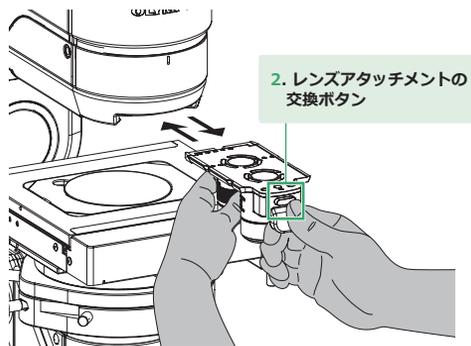
コンソール



# 対物レンズ・オプションユニットの交換

## レンズアタッチメントの 取り付け、取り外し

1. ズームヘッドの取り付け部に沿わせて挿入し、カチッと音がするまで押し込んで取り付けます
2. レンズアタッチメントの交換ボタンを押してから取り外します

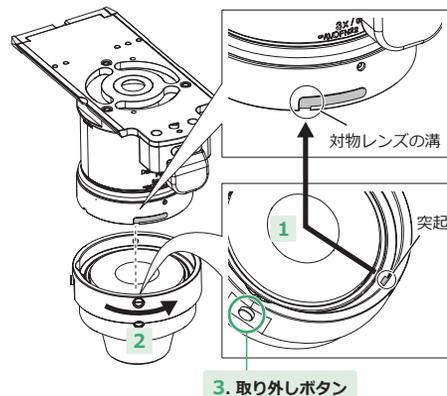


- ※ かならず両手で持ってください。落とすとけがをするおそれがあります。
- ※ はじめて使用する対物レンズはソフトウェアに登録してください。

## オプションユニット（拡散照明アダプター）の 取り付け、取り外し

※ 超長作動対物レンズにのみ装着可能です。

1. 対物レンズの溝とアダプターの突起を合わせます
2. カチッとなるまで右に回して取り付けます
3. 取り外しボタンを押し下げ、左に回して取り外します



3. 取り外しボタン

# 対物レンズと観察方法対応一覧

シリーズ名	対物レンズ名称	NA	W.D. (mm)	実視野※1 (mm)	BF	BF Oblique	DF Ring	MIX	PO	DIC
超長作動 対物レンズ シリーズ	DSX10-SXLOB1X	0.03	51.7	2.74 - 19.2	■	□※2	■	■	—	□※2
	DSX10-SXLOB3X	0.09	66.1	0.91 - 9.1	■	■	■	■	—	□※3
	DSX10-SXLOB10X	0.20	41.1	0.27 - 2.74	■	□※2	■	■	—	□※2
長作動 対物レンズ シリーズ	DSX10-XLOB3X	0.09	30.0	0.91 - 9.1	■	■	■	■	—	□※2
	DSX10-XLOB10X	0.30	30.0	0.27 - 2.74	■	■	■	■	□※3	■
	DSX10-XLOB20X	0.40	20.0	0.14 - 1.37	■	■	■	■	□※3	■
	DSX10-XLOB40X	0.80	4.5	0.07 - 0.69	■	■	■	■	□※3	■
UIS2 シリーズ	MPLFLN1.25X	0.04	3.5	2.19 - 17.1	■	□※2	—	—	—	—
	MPLFLN2.5X	0.08	10.7	1.1 - 10.2	■	□※2	—	—	—	—
	MPLFLN5XBDP	0.15	12.0	0.55 - 5.48	■	■	■	■	■	■
	MPLFLN10XBDP	0.25	6.5	0.27 - 2.74	■	■	■	■	■	■
	MPLFLN20XBDP	0.40	3.0	0.14 - 1.37	■	■	■	■	■	■
	MPLFLN50XBDP	0.75	1.0	0.05 - 0.55	■	■	■	■	■	■
	LMPLFLN10XBD	0.25	10.0	0.27 - 2.74	■	□※2	■	■	□※3	□※2
	LMPLFLN20XBD	0.40	12.0	0.14 - 1.37	■	□※2	■	■	□※3	□※2
	LMPLFLN50XBD	0.50	10.6	0.05 - 0.55	■	□※2	■	■	□※3	□※2
MPLAPON50X	0.95	0.35	0.05 - 0.55	■	■	—	—	□※3	■	

※1 画面表示 標準1:1対角の場合

※2 にじみや色むらが発生する場合があります

※3 偏光特性の効果が得られない場合があります

■ : 可能

□ : 可能だが、制限条件あり

— : 不可

はじめに

操作手順

参考情報

応用編

5

チルト観察  
の操作

回転ステージ  
の操作

対物レンズ・  
オプションユニット  
の交換

対物レンズと  
観察方法対応一覧

対物レンズと  
アタッチメント管理

取扱説明書の中で  
よく読まれる項目

取扱説明書  
構成一覧

## 対物レンズとアタッチメント管理

購入した対物レンズが、どのアタッチメントのどの位置に付けたかの管理に、以下の表をご活用ください

対物レンズ名称	アタッチメント番号	レンズ位置	メモ
<input checked="" type="checkbox"/> 記載例	① 2	② 手前・奥	凹凸サンプル用、DF観察
<input type="checkbox"/> DSX10-SXLOB1X			
<input type="checkbox"/> DSX10-SXLOB3X			
<input type="checkbox"/> DSX10-SXLOB10X			
<input type="checkbox"/> DSX10-XLOB3X	1・2	手前・奥	
<input type="checkbox"/> DSX10-XLOB10X	1・2	手前・奥	
<input type="checkbox"/> DSX10-XLOB20X	1・2	手前・奥	
<input type="checkbox"/> DSX10-XLOB40X	1・2	手前・奥	
<input type="checkbox"/> MPLFLN1.25X	1・2・3	手前・奥	
<input type="checkbox"/> MPLFLN2.5X	1・2・3	手前・奥	
<input type="checkbox"/> MPLFLN5XBDP	1・2・3	手前・奥	
<input type="checkbox"/> MPLFLN10XBDP	1・2・3	手前・奥	
<input type="checkbox"/> MPLFLN20XBDP	1・2・3	手前・奥	
<input type="checkbox"/> MPLFLN50XBDP	1・2・3	手前・奥	
<input type="checkbox"/> LMPLFLN10XBD	1・2・3	手前・奥	
<input type="checkbox"/> LMPLFLN20XBD	1・2・3	手前・奥	
<input type="checkbox"/> LMPLFLN50XBD	1・2・3	手前・奥	
<input type="checkbox"/> MPLAPON50X	1・2・3	手前・奥	

# 取扱説明書の中でよく読まれる項目

取扱説明書の中でよく読まれる項目をピックアップしています。見出し名を参考に検索してください

項目		見出し名	項目		見出し名
運搬や設置に関する注意事項	<a href="#">ハードウェア編</a>	『3.1 運搬』『3.2設置』	画像内のすべての位置で焦点が合っている画像を撮影する	<a href="#">ヘルプ</a>	『EFI画像を取り込む』
ステージの最大積載質量	<a href="#">ハードウェア編</a>	『5.3 ステージ積載質量』	広視野の画像を撮影する	<a href="#">ヘルプ</a>	『パノラマ画像を取り込む』
組み合わせに関する制限	<a href="#">ハードウェア編</a>	『6. 組み合わせ可能ユニット一覧』	複数の位置を撮影する	<a href="#">ヘルプ</a>	『複数の位置で画像を取り込む』
清掃や保管方法	<a href="#">ハードウェア編</a>	『7. 保守・保管』	ユーザーインターフェイス基本要素	<a href="#">ヘルプ</a>	『ユーザーインターフェイスについて』
ユニットの組み立て方法	<a href="#">ハードウェア編</a>	『8. 組み立て方法』	用語解説とリンク集	<a href="#">ヘルプ</a>	『用語』

よく使う項目は、効率的に検索できるよう以下の欄をご活用ください


はじめに

操作手順

参考情報

応用編

7

チルト観察  
の操作

回転ステージ  
の操作

対物レンズ・  
オプションユニット  
の交換

対物レンズと  
観察方法対応一覧

対物レンズと  
アタッチメント管理

取扱説明書の中で  
よく読まれる項目

取扱説明書  
構成一覧

# 取扱説明書構成一覧



## 取扱説明書 安全編

安全に関わる注意事項  
ご使用前に必ずお読みください



## 取扱説明書 ハードウェア編

安全に関わる注意事項  
製品仕様組み立て方法などご使用前  
に必ずお読みください



## オンラインヘルプ

操作に関する説明  
トラブルシューティングなど  
不明点が出た際にご参照ください



## 取扱説明書 解析アプリケーション

PV-3DAAを使用した画像データの測定、解析  
不明点が出た際にご参照ください



## インストールガイド

ソフトウェアのインストール手順説明  
手順に従ってインストールしてください



## インサージョン

注意事項や初期設定に関する説明  
製品開封時に必ずお読みください